

登録No. U-026  
 登録名 Pembrolizumab療法  
 催吐性リスク 最小度  
 適応疾患 尿路上皮癌  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ペムブロリズマブ 生食	①200mg/body ②400mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	30min	インラインフィルター (0.2~5 μm)使用

1クールの間 ①3週間 ②6週間

その他（副作用・PS規定等）

注意が必要な副作用 間質性肺疾患、大腸炎・重度の下痢、重度の皮膚障害、神経障害、肝機能障害、甲状腺機能障害  
 下垂体機能障害、副腎機能障害、1型糖尿病、腎機能障害、膵炎、筋炎・横紋筋融解症、重症筋無力症  
 心筋炎、脳炎・髄膜炎、infusion reaction、ぶどう膜炎  
 グレードにより再開、休止、中止規定あり  
 G2のinfusion reactionが起きた場合は、本剤の投与を直ちに中止。  
 1時間以内に回復する場合には投与速度を50%減速して再開。次回、投与時は規定の速度（30分）で投与可。  
 注意点： 最終濃度は1~10mg/mLとする